

2019年4月9日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で  
脳腫瘍（髄膜腫）の治療を受けた患者さんへ  
（ 医学系研究に関する情報 ）

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の試料や診療記録等を調べる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

髄膜腫の化学療法感受性に関わる分子（バイオマーカー）の探索とその臨床応用に向けた発現解析

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳神経外科  
山形大学医学部 腫瘍分子医科学講座

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科  
教授 吉本幸司

【研究の目的】

髄膜腫はその多くが良性の脳腫瘍ですが、中には手術後再発を繰り返し治療困難となるものもあります。これまでそういった髄膜腫に対して有効な化学療法はありませんでした。この研究では髄膜腫に対する有効性が期待される化学療法薬（抗がん剤）が治療効果を発揮する仕組みを明らかにするとともに、化学療法に対する反応性（治療効果の善し悪し）を治療前に予測するための目印

(バイオマーカー)を見つけることを目的としています。

#### 【研究の方法】

本研究は共同研究機関である山形大学医学部腫瘍分子医科学講座とともに行います。手術により採取し、同意を得て保存してある脳腫瘍標本ならびに診療情報(年齢、性別、治療経過、病理組織診断結果)を同講座に提供致します。同講座では、腫瘍組織中に含まれる種々のタンパク質、核酸(mRNA)分子のうち化学療法薬の効果に影響があると予想されるものの量を測定します。また、腫瘍組織中に含まれるそういった分子の多い少ないと患者さんの臨床情報との間に何らかの関係がないか調べます。

#### 【対象となる患者さん】

2000年1月1日から2019年2月28日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で髄膜腫と診断され、手術治療を受けた患者さんを対象にしています。

#### 【試料や診療録(カルテ)から利用する情報】

手術により採取した腫瘍組織中に含まれるタンパク質、核酸(mRNA)分子の量、診療録に記載された患者さんの年齢、性別、治療経過、病理組織診断結果の情報を利用します。

#### 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

#### 【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、山形大学医学部腫瘍分子医科学講座の公的研究費(科学研究費補助金「科研費」)と鹿児島大学病院脳・神経センター脳神経外科の用途特定寄附金で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

教授 吉本幸司

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041